

あなたが支える市民活動応援事業 補助金交付申請書

大分市長 足立 信也 殿

所在地 大分市大字野津原 397 番地
団体名 特定非営利活動法人七瀬の里Nクラブ
代表者氏名 理事長 森 慎一郎
電話 097-588-1662
担当者名 XXXXXXXXXX
担当者連絡先 XXXXXXXXXX

あなたが支える市民活動応援事業補助金交付要綱第5条の規定により、次のとおり申請します。

記

1. 事業名 野津原地区3世代健康づくり応援事業

2. 事業の概要

野津原地区に住む子ども、成人、高齢者を対象にした運動教室やイベントを開催し、住民の健康意識の向上と体力や運動能力の向上を図る。子どもたちを対象にした日本スポーツ協会推奨の「アクティブ・チャイルド・プログラム」教室を開催し、運動習慣の定着と運動神経の向上を図る。成人に向けては野津原地区5大スポーツ大会を通じて、スポーツ実施率の向上と住民相互の親睦を図る。高齢者を対象にした「Nスポフィットネス教室」や「貯金運動教室」を開催し、筋力アップを図り転倒予防等の繋げる。また、バスによる送迎付きの「生き生き元気教室」を開催し、健康運動体操や運動後のランチを通じて健康づくりと仲間づくりに繋げてもらう。

3. 事業費 1,017,820 円

4. 交付申請額 300,000 円

5. 概算交付 ☒概算交付を希望する。
☐概算交付を希望しない。

※注意 概算交付を受けるには、過去に当該事業で補助を受けた実績が必要です。

6. 添付書類 (1) 団体調書(様式1-1、1-2)
(2) 事業計画書(様式2)
(3) 収支予算書(様式3)
(4) 団体要件・事業要件確認シート(様式4)
(5) 誓約書(様式5)
(6) 活動目標設定書(様式6)
(7) 規約、会則、定款等の写し
(8) その他市長が必要と認める書類

- (i. 本制度に関する予算については、3月の第1回定例会での予算可決をもって決定されます)
(ii. この内容は、大分市ホームページ等で公表いたします。

団 体 調 書

1 団体の概要

団 体 名	(ふりがな) とくていひえいりかつどうほうじん ななせのさとえぬくらぶ 特定非営利活動法人七瀬の里Nクラブ				
住所	〒 870 - 1203 大分市大字野津原397番地				
代表者氏名	(ふりがな) もり しんいちろう 森 慎一郎		FAX (団体)	097-588-1662	
電話 (団体)	097-588-1662		E-mail (団体)	nstrips@outlook.jp	
設立年月日	2004. 4. 29	ホームページ	有 ・ 無	団体構成員数	11人
活動の分野 ※別表参照	主分野 (1つ)	6	その他の 分野	1, 3, 4, 5	
連絡責任者 ※この申請について問い合わせをしたときに対応できる方	住所				
	氏名		FAX		
	電話		E-mail		
主な活動地域	☐ 市内全域 ☐ 大分中央 ☐ 大分東部 ☐ 大分西部 ☐ 大分南部 ☐ 南大分 ☐ 鶴崎 ☐ 大南 ☐ 植田 ☐ 大在 ☐ 坂ノ市 ☐ 佐賀関 ☒ 野津原 ☐ 明野				
団体の活動目的 ※簡潔明瞭に記入してください	この法人は、地域住民に対して、スポーツ文化を核とした継続的な活動を通して、青少年の心身両面に渡る成長を促し、若者の夢の実現や地域住民の健康増進に努め、高齢者の生きがい創出に寄与する。また、地域の豊かな自然環境の中で都市住民との交流を図り、自然の大切さや伝統文化の理解を深めてもらう。これらの活動を通して、地域住民の世代間を超えた連帯感の高揚、高齢化社会への対応、地域住民の健康・体力の保持増進、地域の教育力の回復など地域自治を目指した新たな地域社会の形成に寄与することを目的とする。				
これまでの 主な活動実績	年度	事業名	実施回数	参加者数	
	令和元年	野津原地区スポーツイベントの実施	3回	1,500名	
	令和5年	野津原地区4大スポーツ大会の実施	4回	1,800名	
	令和6年	野津原地区4大スポーツ大会の実施	4回	1,800名	
これまでに補助 や委託を受けた 実績	年度	補助(委託)元	補助事業名	金額	
	令和2年	大分市	1%応援事業	142,506円	
	令和4年	大分市	1%応援事業	167,786円	
	令和6年	大分市	1%応援事業	(予定) 119,484円	

2 活動計画書

事業の実施に関する事項

(1) 公益的活動に係る事業

1% 応援
事業補助
対象事業
を記載

事業名	事業内容	実施予定 日 時	実施予定 場 所	受益対象者の 予定人数 (延べ)	実施予定 回 数 (延べ)	予 算 額 (千円)
野津原地区 3 世代健康づくり応援事業	子ども、成人、高齢者の生きがい、健康づくり	2025 年 4 月～2026 年 3 月	野津原地区運動施設	2000 人	100 回	1,018
スポーツ文化推進事業	子ども、成人、高齢者のスポーツ文化活動の推進	2025 年 4 月～2026 年 3 月	野津原地区運動施設	65,000 人	3,200 回	20,000
地域自治を目指した活性化事業	地域住民の繋がりを強め、都市部との交流活動	2025 年 4 月～2026 年 3 月	野津原地区全域	1500 人	10 回	1,200
小 計					3,310 (a)	22,218 (c)

(2) その他の活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定 日 時	実施予定 場 所	受益対象者の 予定人数 (延べ)	実施予定 回 数 (延べ)	予 算 額 (千円)
小 計					0 (b)	0 (d)

合 計	(a) + (b) 3,310 回	(c) + (d) 22,218
-----	----------------------	---------------------

カテゴリーごとの公益的活動の割合 ※小数点以下は四捨五入してください。	(a) / (a) + (b)	(c) / (c) + (d)
	100% (A)	100% (B)
全活動に占める公益的活動の割合 $\{(A) + (B)\} \div 2 \times 100$ ※小数点以下は四捨五入してください。	100%	

事業計画書

(様式2)

事業名	野津原地区3世代健康づくり応援事業	
事業内容	主な対象者	野津原地区に住む子ども、成人、高齢者
	内容	子ども対象…ACP教室（総合的な運動を組み合わせた教室） 成人対象…野津原地区5大スポーツ大会の実施 ・ナイターソフトボール大会 ・お盆軟式野球大会 ・自治区対抗バレーボール大会 ・ふれあい駅伝大会 ・三世代スポーツ大会 高齢者対象…フィットネス教室（中高年のフィットネス） 高齢者生き生き元気教室（バス送迎付き） グラウンドゴルフ愛好者サロンの開設
事業スケジュール ※別紙添付可	時期（月） 毎週	内容 子ども対象運動遊びレンボー教室（毎週水曜日）
	8月 11月 12月 3月	野津原地区お盆ソフトボール大会 野津原地区自治区対抗ソフトバレーボール大会 野津原地区ふれあい駅伝大会 野津原地区3世代スポーツ大会 フィットネス教室（毎週月曜日、金曜日） 生き生き元気教室（毎週木曜日）
広報計画・方法 ※参加市民等の受益対象者の増加に向けた具体的な広報計画等	☒ ホームページ ☒ チラシ、広報誌 ☒ facebook等のSNS ☐ その他（具体的に） 広報用チラシを作成し、小学校や全戸新聞チラシで配布し、参加者を募る	
自己収益金の拡大に向けた取り組み ※自己収益金とは会費収入、事業収入や寄付金収入等であり、補助金や交付金による収入は含まれません	新規プログラムの開発や新規イベントを開催し、会員増を図り収入増を図ります。	
見込まれる効果 ※地域にどのような効果をもたらすのか、また市民福祉の向上にどのようにつながるのか	子どもたちを対象にした日本スポーツ協会推奨の「アクティブ・チャイルド・プログラム」を活用したレンボー教室を開催することにより、子ども達の運動習慣の定着と運動神経の向上が期待できる。全世代の住民に向けては野津原地区スポーツ大会を通じて、スポーツ実施率の向上と住民相互の親睦を図ることにより、コミュニティづくりに寄与できる。高齢者を対象にした「Nスポフィットネス教室」や「健康体操運動教室」を開催することにより、筋力アップを図り転倒予防等の効果が期待できる。また、バスによる送迎付きの「生き生き元気教室」を開催し、健康運動体操や運動後のランチを通じて健康づくりと仲間づくりなどの効果が期待される。これらの活動を通して、野津原地区に住む子ども、成人、高齢者の健康意識の向上と体力や運動能力の向上につながることを期待しています。	
新規事業・ 継続事業の別	※申請事業について、該当する□にチェックしてください。 ☐ ① 1%応援事業の交付申請をするのは初めてである。 ☒ ② 以前に1%応援事業の交付申請をしたことがある。	

収支予算書

事業の名称： 野津原地区3世代健康づくり応援事業

1 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
補助金収入	300,000	大分市1%応援事業
会費収入	264,000	月会費 300 円×12 ヶ月×60 名=216,000 円 月会費 200 円×12 ヶ月×20 名=48,000 円
事業収入	414,000	参加料 200 円×12 ヶ月×60 名=144,000 円 大会参加料 9000 円×30 チーム=270,000
寄附金収入		
その他	39,820	自己負担金
合 計	1,017,820	

2 【支 出】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
報償費	813,000	指導者謝金 5,000 円×8 回×12 ヶ月=480,000 大会役員謝金 3,000 円×5 大会×15 名=225,000 大会審判員謝金 3,000 円×36 名=108,000 円 [対象外]
旅費		
消耗品費	126,320	ソフトボール試合球 820 円×36 球=29,520 円 ソフトバレーボール試合球 2,200 円×24 球=52,800 円 バドミントンシャトル代 200 円×120 個=24,000 円 卓球ボール代 100 円×200 球=20,000 円
燃料費		
食糧費		
印刷製本費	60,000	教室チラシ印刷代 20 円×3,000 枚=60,000 円
通信運搬費		
広告料		
保険料	18,500	指導者保険料 1,850 円×10 名=18,500 円
手数料・委託費		
使用料・賃借料		
原材料費		
備品購入費		
合 計	1,017,820	[補助対象経費 792,820]

備考 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。

なお、実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。